

# Hitachi Koki

## 取扱説明書

保証書付

形 名

# FML 23SF

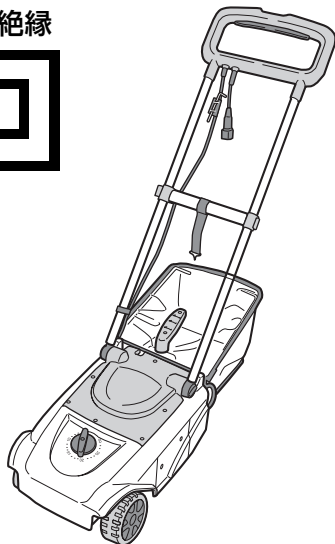
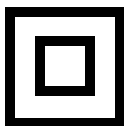
リール式

# 日立芝刈機

このたびは日立芝刈機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁



### 用 途

●芝の刈込み

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
リール式芝刈機の使用上のご注意	4
各部のなまえ	6

はじめに

組立方法	7
ご使用前の準備	8
ご使用前の点検	9
刃のすき間調整	10

準備

芝を刈込む	11
ラッピング研磨	13
リール刃(回転刃)の交換	15
固定刃の交換	17

使いかた

別売部品の紹介	18
点検・お手入れする	19
仕様	20
故障かな…というときは	21
アフターサービスについて	22
保証書	裏表紙

その他

HITACHI

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

**注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

# 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## **⚠警告**

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
  - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

# 警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
  - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
  - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
  - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口に依頼してください。
  - 延長（継ぎ）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - 使用しない、または、修理する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。

# 警告

- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑪ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑫ 屋外使用に合った延長（継ぎ）コードを使用してください。
- 屋外で延長（継ぎ）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑬ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑭ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口にご相談ください。
  - スイッチが故障した場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口にご相談ください。
  - スイッチで始動および停止操作ができなくなった電動工具は、使用しないでください。
- ⑮ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑯ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口にお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

## ○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。

ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

## 回 二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お買い求めの芝刈機は二重絶縁をしてあり、銘板に 回 マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口にご用命ください。

# リール式芝刈機の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、リール式芝刈機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 雨の中での作業や雨が降り直後のぬれた芝の刈込みはしないでください。また、雨が降っているとき屋外に放置したり、本体がぬれている状態では決して使用しないでください。
  - ・感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ 使用中、コードを切断しないよう注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - ・感電やけがの原因になります。
- ④ ぬれた手で、さし込みプラグを抜きさししないでください。
  - ・感電やけがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、機体を両手で確実に保持してください。
  - ・両手で確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑥ 刃物類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ⑦ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑧ 必ず長ズボン、運動靴などを着用してください。
  - ・刃物に小石などがあたって飛散し、けがの原因になります。
- ⑨ 小さいお子様やペットなどのいるそばで使わないでください。また、小さいお子様には絶対に使わせないでください。

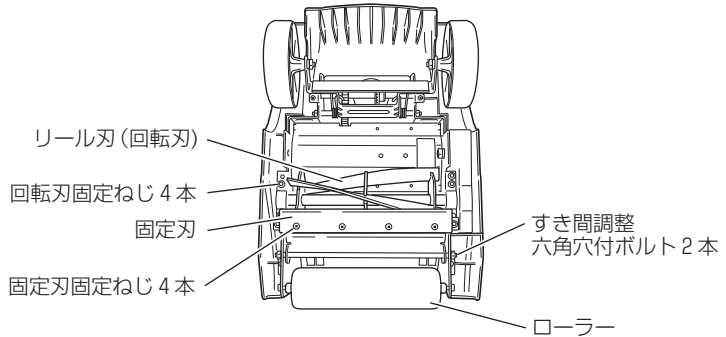
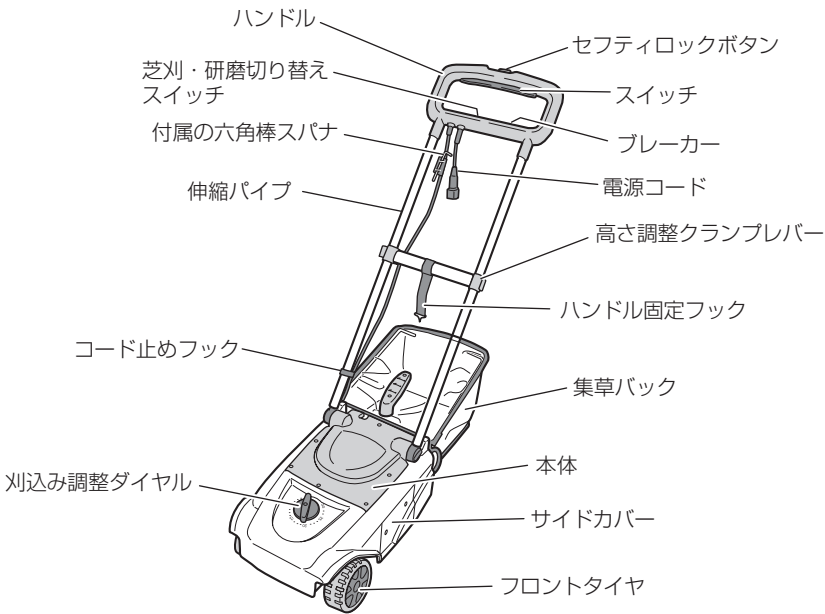
## 警告

- ⑩ 芝刈機を使用する前に、作業場所内にある小石や異物（小枝、ガラス、金属類）などの障害物を取除いてください。
  - 小石などが刃物に当たるとけがの原因になります。
- ⑪ 使用中は、回転している刃物や排出口には、絶対に手や顔など身体を近づけないでください。
  - けがの恐れがあります。
- ⑫ スイッチを切ってもリール刃はすぐに止まりません。本体の持ち運び、リール刃の点検やお手入れは、必ずリール刃が停止したことを確認し電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
  - けがの原因になります。
- ⑬ 集草バッグは必ず本体に取付けて使用してください。
  - 刈取った芝クズなどが飛び散り、けがの原因になります。
- ⑭ セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。
  - 不意に動き思わぬけがの原因になります。
- ⑮ 刃物類は指定以外のものは使用しないでください。また、刃物類にひび・欠けなどの異常があったときには直ちに新しい刃物類と交換してください。
  - 切れ味が悪くなるばかりでなく、けがの原因になります。
- ⑯ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店または日立工機（株）の相談と修理の窓口にご依頼してください。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。








## 注意

- ① リール刃の点検やお手入れの時は必ず手袋を着用してください。
  - けがの原因になります。
- ② 使用中、コードの上を本体が通らないようにしてください。
  - コードを巻込んだり、切断する恐れがあり、感電の原因になります。
- ③ ハンドルを折りたたみ、本体を持ち運ぶときは、本体裏側の刃物類に注意してください。
  - けがの原因になります。
- ④ 使用しない場合は、必ず屋内に保管してください。保管場所として次の場所は避けてください。
  - 子供の手が届いたり、簡単に持ち出せる所。
  - 温度や湿度が急変する所。
  - 湿気の多い所。
  - 直射日光の当たる所。
  - 揮発性物質の置いてある所。
  - 事故の恐れがあります。

# 各部のなまえ



## 付属品

集草バック	継ぎコード (10m)	六角棒スパナ	プラグクリップ	コードガイド	ラッピングオイル	ラッピング用ブラシ
1個	1本	1個 (本体収納)	1個	1個	1本	1本
						

# 組立方法

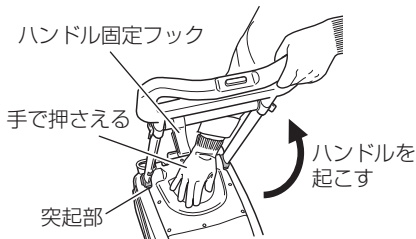
出荷時には、ハンドルの高さを最小にして、集草バッグを取りはずしてあります。

## 警告

- 組立前には、本体のスイッチが切れていること、電源プラグがコンセントから抜いてあることを確認してください。

### 1 ハンドルを起こす

- ハンドル固定フックを取りはずします。(ハンドル固定フックの長さはマジックテープで短くすることができます。)
- 本体上面を手で押さえ、ハンドルを起こします。
- 突起部で2箇所きつい所がありますが、最後まで引き起こしてください。



### 2 ハンドルを伸ばす

- 左右の高さ調整クランプレバーを開いて(下向き)、固定を解除します。
- ハンドルを持って、伸縮パイプを引き出してください。

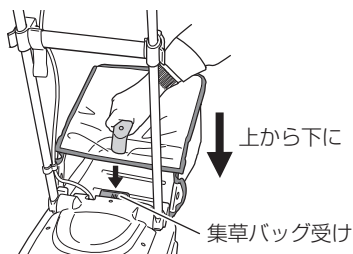


### 3 ハンドルを固定する

- 使いやすい姿勢に合わせ、作業時のハンドル高さを調整してください。
- 左右の高さ調整クランプレバーを閉じて(上向き)、確実に固定します。

### 4 集草バッグを取付ける

- 突起部で止まるまで、ハンドルを前方に軽く傾けてください。
- 本体後部の上から下に向けて、集草バッグを集草バッグ受けに引っ掛け、確実に取付けてください。



- 注**
- 集草バッグは折りたたんで梱包しています。袋部を広げてからご使用ください。
  - 集草バッグは無理に凹部に入れないでください。引っ掛けたままでご使用できます。



# ご使用前の準備

## ●作業前に庭を整理し、足場を良くします

芝の刈込みをする前に、小石や枝などの異物をよく取り除いてください。

## ●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

## ●延長コードを使う場合

### ⚠ 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

電流が流れるのに十分な太さで、できるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。

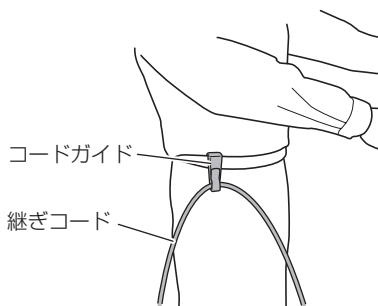
コードの太さ (mm <sup>2</sup> )	最大の長さ (m)
0.75	20
1.25	30
2	50

## ●コードガイドの使いかた

### ⚠ 注意

- コードガイドを使う場合、継ぎコードは標準付属品のコードを使用してください。

市販の延長コードをしまいますと、事故やけがの原因となるおそれがあります。



コードガイドを使用する事で、足元のコードを気にすることなく作業できます。

# ご使用前の点検



- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、次のことを確認してください。

## 1 スイッチが切れていることを確かめます

- スイッチが入っているの知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

## 2 電源を確かめます

- お買い求めの芝刈機は 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に高速となり、破損するおそれがあります。また、直流電源で使用しないでください。本機の損傷をまねくだけでなく危険です。

## 3 コンセントを確かめます

- コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

## 4 さし込みプラグと継ぎコードの接続、プラグクリップの取付けを確かめます

- 使用中にさし込みプラグから継ぎコードが抜けるのをプラグクリップで防止します。



# 刃のすき間調整

固定刃とリール刃のすき間を左右均一に調整します。

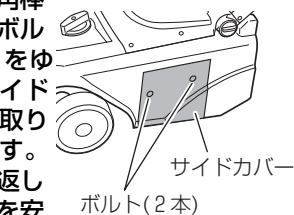
工場出荷時に調整されておりますが、切れ味を良好に保つため、ときどき刃のすき間を調整してください。

## 警告

- 刃のすき間を調整するときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。思わぬ事故のもとになります。
- 刃のすき間を調整するときは必ず手袋をつけ、直接刃先に触れないようにしてください。

## 1 サイドカバー・ベルトカバーを取りはずす

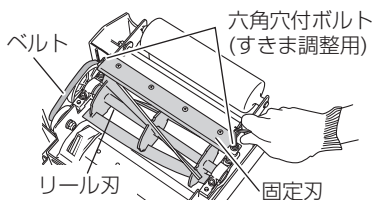
- 付属の六角棒スパナでボルト(2本)をゆるめ、サイドカバーを取りはずします。
- 本体を裏返して、機体を安定させます。
- ベルトカバー固定ボルト(1本)をゆるめ、ベルトカバーを取りはずします。



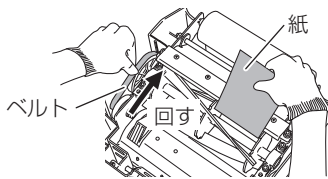
**注** カバーとボルトの間にワッシャが入っていますので、紛失しないようにしてください。

## 2 すき間を調整する(すり合わせ調整)

- 固定刃の左右にあるボルト(すき間調整用)(2本)を、付属の六角棒スパナで交互に回し、すき間を左右均一に調整します。(ボルトを右に回せば狭く、左に回せば広くなります。)



- 固定刃とリール刃のすき間(左端、中央、右端の3カ所)にハガキ(または同じくらいの厚みの紙)を固定刃に対して垂直にさし込み、手でベルトを回してリール刃を回したときに紙が切れるように調整します。



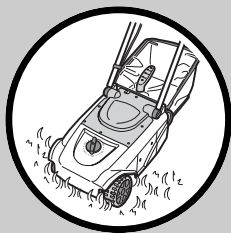
- リール刃が少し窮屈に回るようになるまで、すき間を調整してください。

**注** 刃のすき間が狭くなりすぎますと刃物の寿命が短くなります。また、モーター・ベルトに強い負荷が掛かり、損傷の原因になります。

## 3 ベルトカバー・サイドカバーを取付ける

- ①の逆の手順でベルトカバー、サイドカバーを取付けます。

**注** カバーと固定ボルトの間にワッシャを忘れずに入れてください。



# 芝を刈込む

刈込高さを調整をして、芝を刈込みます。

## 警告

- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 作業中、集草バッグをはずして使用しないでください。異物等を刃に巻き込むと飛散し、けがの原因になります。
- 本機を持ち運ぶとき、刃物でけがをすることがあります。持ち運びには注意してください。

**1** 芝刈・研磨切替スイッチをく芝の刈込みにする  
(右ページ「スイッチの操作について」参照)

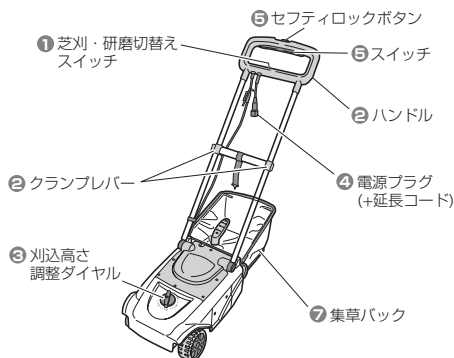
**2** ハンドル高さを調整する

- クランプレバーで、ハンドル位置を解除・固定してください。  
(P7「組立方法」②③参照)

**3** 刈込高さを調整する

- 調整する高さの位置に、調整ダイヤルを回してください。  
(右「刈込高さの調整」参照)

**4** 電源プラグをコンセントにさし込む



## ● 刈込高さの調整

刈込高さとは刈った後の芝の長さで、本機は、5～30mmの間で無段階に調整できます。

刈込高さ調整ダイヤルを回して、調整する刈込高さに合わせてください。



刈込高さ調整ダイヤル

- 注** ● 刈った後の芝の長さは地面の起伏などでも多少変わりますので、刈込高さの調整は目安としてご使用ください。

## 5 スイッチを入れる

- セフティロックボタンを押しながらスイッチを引くと、モーターが起動し刃が回転します。(右「スイッチの操作について」参照)
- モーターが起動しないときは、ブレーカーボタンを1回押して再起動してください。(P13「ブレーカーと再起動について」参照)

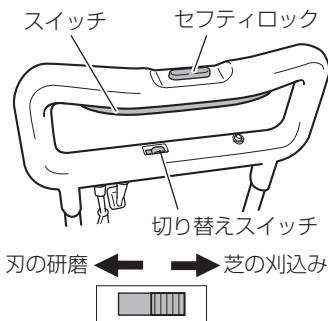
## 6 芝を刈込む

- フロントタイヤ上部の刈り位置目安線を参考に、1mを4～5秒くらいの速度で本体を押します。
- コードがじゃまにならないよう、電源に近い方から刈り始めます。
- 一度刈った幅の約1/3を重ね、進行方向を変えてむらなく刈込みます。
- 刈込み角度(方向)を変えて刈ると、芝目が一定方向になるのを防ぎます。
- 長い芝の刈り方一度に短く刈らず、日をあけて順次短く刈ってください。



## ●スイッチの操作について

- セフティロックスイッチ  
安全な作業のため、セフティロックボタンを同時に操作しないとスイッチが入らない構造です。  
セフティロックボタンを押しながら、スイッチを入れてください。
- 芝刈・研磨切換スイッチ  
芝刈作業時は<芝の刈込み>へ、刃のラッピング研磨作業時は<刃の研磨>へ、確実にスイッチをスライドして切替えてください。



- 注
- 最初から長い芝を短く刈込むと、機体に無理が生じると同時に、芝が枯れる場合があります。
  - 運転中に芝刈・研磨切替スイッチを<研磨>にしないでください。芝が刈れないばかりでなく、故障の原因になります。

## 7 芝を捨てる

- 集草バッグにたまった芝は、バッグ一杯になる前に、集草バッグを取りはずして捨ててください。(右警告参照)

## ⚠ 警告

- 集草バッグは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、リール刃(回転刃)が止まっているのを確認してからはずしてください。
- 集草バッグをはずした際、排出口に手などを入れないでください。思わぬ事故のもとになります。

- 注
- 集草バッグが一杯になり、刈った芝が排出口にたまると、モーターに強い負荷がかかり、故障の原因になります。

## ●ブレーカーと再起動について

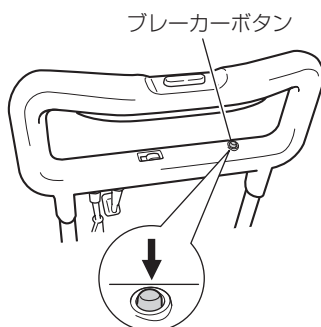
### ⚠ 警告

- 芝や異物が詰まった場合は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬ事故のもとになります。
- 芝や異物を取除く場合は、手袋を着用してください。

作業中、芝や異物が回転部に巻きついたときは、モーターの過電流保護のためブレーカーが作動し、モーターを停止します。

#### <再起動の方法>

- ①スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- ②本体を裏返しにします。
- ③手袋をした手でリール刃を逆に回し、リールに巻きついた芝や異物を取除きます。
- ④本体を元に戻して、電源プラグをコンセントにさし込みます。
- ⑤ハンドルのブレーカーボタンを1回押します。
- ⑥スイッチを入れるとモーターが再起動し、復帰します。



## ラッピング研磨

刃の切れ味が悪くなりましたら、ラッピング研磨をおこなってください。ラッピング研磨では、刃先の微小な摩耗は研磨できますが、刃の割れ・欠けなどは復元できません。新品と交換してください

### ⚠ 警告

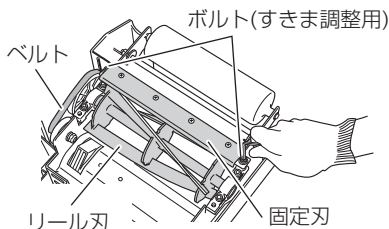
- ラッピング研磨をするときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、必ず手袋・保護メガネをしてください。  
思わぬ事故のもとになります。
- ラッピング研磨作業中は、芝刈・研磨切替スイッチを<芝の刈込み>にしないでください。  
<芝の刈込み>にして行くと、けがの原因になります。

**1** 芝刈・研磨切替スイッチ  
を<刃の研磨>にする  
(P12「スイッチの操作について」参照)

**2** サイドカバー・ベルト  
カバーを取りはずす  
(P10「刃のすき間調整」①参照)

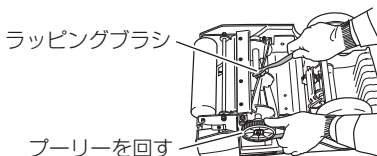
**3** 刃のすき間を調整する

- 本体を裏返して、機体を安定させてください。
- 付属の六角棒スパナでボルト(すき間調整用)(2本)を回し、リール刃と固定刃が軽めに接触するようにします。(手でベルトを回して、刃の接触具合を確認しながら調整してください)

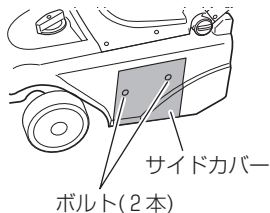


**4** ラッピングオイルを  
塗布する

- 付属のブラシにラッピングオイルを付け、固定刃・リール刃(3枚)に薄く塗布します。
- 手でベルトを右回り(時計回り)に回し、リール刃に塗布してください。



**5** ベルトカバー・サイドカ  
バーを取付ける  
(P10「刃のすき間調整」①の逆の手  
順でベルトカバー・サイドカバ  
ーを取付けます。)



**6** 試運転する

- 電源プラグをコンセントにさし込み、スイッチを入れます。  
(P11「芝を刈込む」⑤参照)
- 2～3分間試運転を続け、金属音がしなくなったら運転を停止し、②～⑥の操作を2、3回繰り返してください。
- 刃のすき間調整を行います。  
(P10「刃のすき間調整」②参照)  
切れない場合は再度研磨をしてください。
- 研磨終了後は、固定刃・リール刃に残ったラッピングオイルを乾いた布などできれいに拭き取ってください。

- 注**
- 試運転中は芝刈りなどの作業をしないでください。
  - ラッピングオイルの拭き取りが不十分ですと刃が切れなくなる原因になります。

使  
い  
か  
た

# リール刃(回転刃)の交換

刃の切れ味が悪くなりましたら、新しいリール刃に交換してください。  
刃物の交換は、リール刃・固定刃と一緒に交換することをおすすめします。

## ●リール刃の取りはずし

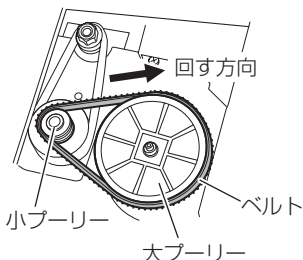
### 1 サイドカバー・ベルトカバーを取りはずす (P10「刃のすき間調整」①参照)



**注** ●カバーと固定ボルト間にワッシャが入っていますので、紛失しないようにしてください。

### 2 ベルトを取りはずす

- ベルトを矢印の方向に回して外側にねじりながら大プーリー側のベルトの山をはずします。
- ベルトが外れにくい場合は、ベルトを回しながら付属の六角棒スパナをベルトと大プーリーの間にさし込み、少しこじると簡単にはずせます。



**注** ●内側のベルトははずさないでください。

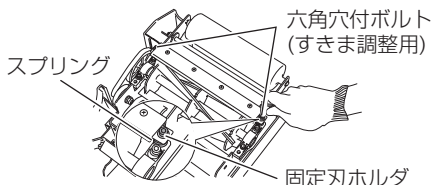
## ⚠警告

- リール刃を交換するときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、必ず手袋をつけ、直接刃先に触れないようにしてください。

思わぬ事故のもとになります。

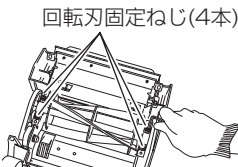
### 3 固定刃を裏返す(固定刃を取りはずす)

- ボルト(すき間調整用)(2本)を、付属の六角棒スパナでゆるめ、ボルト、ワッシャ(2種類)、スプリングを固定刃ホルダから取りはずします。
- 固定刃ホルダをローラー側に倒して固定刃の向きを裏返します。



### 4 リール刃を取りはずす

- 付属の六角棒スパナでリール刃固定ボルト(4本)を、リール刃の刃先に注意しながらゆるめ、リール刃固定ボルト、ワッシャ(2種類)を取りはずします。
- 手袋をした手でリール刃を持ちあげ、リール刃を台座から取り出してください。



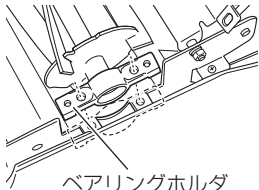
**注** ●リール刃、ベアリングホルダ、大プーリーが一緒にはずれます。



# ● リール刃の取付け

## 1 リール刃を取付ける

- 新しいリール刃を用意します。
- 固定刃を裏返しにしたままで、リール刃を台座に載せます。(ベアリングホルダの向きに注意してください。図参照)



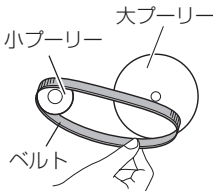
ベアリングホルダ

- 付属の六角棒スパナでリール刃固定ボルト(4本)を締付けベアリングホルダを台座に固定します。

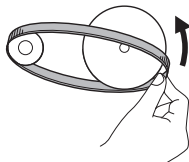
**注** ・ベアリングホルダとリール刃固定ボルト間にワッシャを忘れずに入れてください。

## 2 ベルトを取付ける

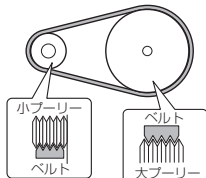
- ①小プーリーの溝にベルトを確実に引っかけます。



- ②ベルトを大プーリーの溝に引っかけ内側にねじりながら回し、確実に溝に入れていきます。

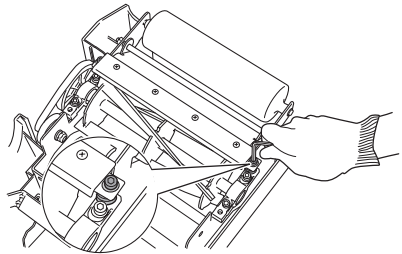


- ③大、小プーリーの溝に正しく入っているか確認します。



## 3 固定刃を戻す

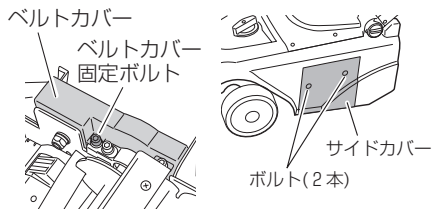
- 固定刃ホルダをリール刃側に倒して固定刃を表向きに戻します。
- 固定刃ホルダとボルト(すき間調整用)の間にワッシャ(2種類)、ベアリングホルダの間にスプリングを入れたボルト(すき間調整用)(2本)を、付属の六角スパナでベアリングに軽く取付けます。(仮止め)



- 刃のすき間調整を行います。(P10「刃のすき間調整」②参照)

## 4 ベルトカバー・サイドカバーを取付ける

(P10「刃のすき間調整」①の逆の手順でベルトカバー・サイドカバーを取付けます。)



**注** ・カバーと固定ボルト間にワッシャを忘れずに入れてください。

使  
い  
か  
た

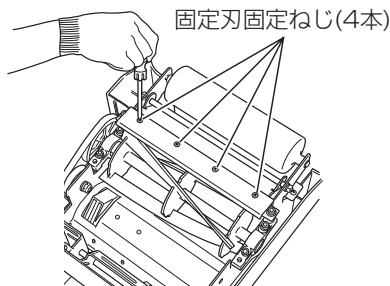
# 固定刃の交換

固定刃の交換は、リール刃と一緒に交換することをおすすめします。

## 警告

- 固定刃を交換するときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、必ず手袋をつけ、直接刃先に触れないようにしてください。思わぬ事故のもとになります。

- プラスドライバーで固定刃固定ねじ(4本)をゆるめ、固定刃を固定刃ホルダから取りはずします。
- 取付けは取りはずしの逆の手順で行います。

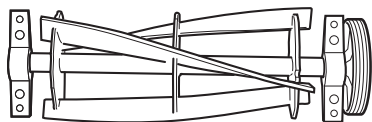


# 別売部品の紹介

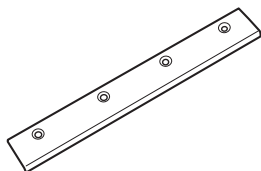
日立電動工具販売店でお求めください。

(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

リール刃



固定刃



# 点検・お手入れする

## ⚠ 警告

- 点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 安全に効率よく作業をして頂くために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

## ● リール刃・固定刃の点検

- 本体内部やリール刃・固定刃に付着した草や土を取り除き、清掃してください。
- リール刃・固定刃の刃面に、防錆油（機械油）を塗布してください。
- 刃先が磨耗したときは、新しいリール刃・固定刃に交換してください。
- リール刃・固定刃の締付けにゆるみがないか、確認してください。

## ● サイドカバーの点検

- サイドカバー内に芝が入る事がありますので、使用後は取りはずして掃除してください。

## ● 取付けねじの点検

- 時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。  
そのまま使用すると危険です。

## ● 本体はきれいに

- 石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。
- 水洗いは絶対にしないでください。

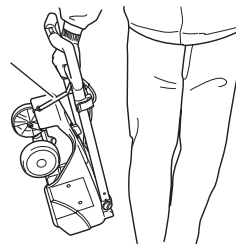
## ⚠ 注意

- 保管場所について  
必ず屋内に保管してください。また次の場所には保管しないでください。
  - ・ 子供の手が届いたり、持ち出せる所。
  - ・ 温度や湿度が急変する所。
  - ・ 湿気の多い所。
  - ・ 直射日光の当たる所。
  - ・ 揮発性物質の置いてある所。事故の恐れがあります。

## ● 運搬方法

- ① ハンドル固定フックを本体に引っかけます。
- ② 刃物類に気を付けて図のように持って運搬します。

ハンドル固定フック



- 注** • ハンドル固定フックは本体に確実に引っかけてください。

## ● 保管方法

- ① 本体を図のように立てます。
- ② 集草バッグの取っ手をハンドルに引っかけます。



# 仕 様

形 名	FML 23SF
使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 100 V
刈 込 幅	230 mm
刈 込 高 さ	無段式：5 ~ 30 mm
刃 の 形 式	リール刃 3 枚刃
ラッピング方式	逆回転研磨方式
無 負 荷 回 転 数	2200 min <sup>-1</sup> {回/分}
電 流	4.8 A
消 費 電 力	460 W
モ ー タ ー	単相整流子モーター
機 体 寸 法 ※	長さ 750 × 幅 340 × 高さ 225mm
質 量	本体：8.8 kg
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 0.25 m

※ハンドルの高さを最小にして折りたたんだ状態の寸法です。

# 故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置
動かない	・電源プラグがさし込まれていない。	・電源プラグをコンセントにさし込んでください。
	・継ぎコードがはずれている。	・継ぎコードと電源プラグを接続してください。 (P9「ご使用前の点検」④参照)
	・リール刃に異物がはさまっている。 または詰まっている。	・必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、異物を取除いてください。
	・ブレーカーが作動している。	・P13「ブレーカーと再起動について」に従って再起動してください。
ひんぱんにブレーカーが作動する	・能力以上の負荷がかかっている。	・長い芝は一度に短く刈らず日をあけて、順次短く刈ってください。
芝が上手に刈れない	・リール刃・固定刃が古くなっている。	・新しいリール刃・固定刃に交換してください。 (P15「リール刃の交換」、 P17「固定刃の交換」参照)
	・ぬれた芝を刈っている。	・乾いた芝を刈るようにしてください。
	・刃のすき間調整が正しくされていない	・必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、刃のすき間調整に従って作業してください。(P10参照)
	・芝刈・研磨切替スイッチが<研磨>になっている。	・リール刃が止まっているのを確認してから、芝刈・研磨切替スイッチを<芝の刈込み>にしてください。
刈った芝が集草バッグに入らない	・排出口に芝が詰まっている。	・必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、芝を取除いてください。
	・長く伸びた芝を刈っている。	・刈込高さを 30 mm にして刈込んでください。
	・ぬれた芝を刈っている。	・乾いた芝を刈るようにしてください。

# アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

## 相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

芝刈機についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようになっております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…〔相談と修理の窓口〕へ

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、山梨、新潟、 長野、静岡県富士川以東	台 東 区	東 京	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、 静岡県富士川以西	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	大 阪 市	関 西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

「電動工具お客様相談センター」



0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

# 日立芝刈機保証書

形名	FML 23SF	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
※お買い上げ日	平成 年 月 日	製造番号	
※お客様	お名前		
	ご住所	〒 電話( )	
※販売店	住所	〒 電話( )	
	店名		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - (ニ) 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
  - (ホ) 本書の提示がない場合。
  - (ヘ) 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (ト) 一般使用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
  - (チ) 付属品、別売部品や消耗品類の場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機(株)のご相談窓口にお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is only Japan)



〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティ A 棟)  
電話 (03) 5783-0626 (代)